

佐賀県景気動向指数

令和6年11月29日
政策部統計分析課

1 令和6年9月の動向

- ◆ 先行指数 **62.5%** …… 5か月振りに50%を上回った。
- ◆ 一致指数 **57.1%** …… 2か月振りに50%を上回った。
- ◆ 遅行指数 **33.3%** …… 3か月振りに50%を下回った。

〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(0)	
《先行系列》	新規求人数	4か月振り	所定外労働時間数	2か月連続		
	鉱工業生産指数(生産財)	2か月振り	新設住宅着工戸数	2か月振り		
採用系列数	8		乗用車新車登録台数	6か月連続		
拡張系列数	5.0		企業倒産件数(逆)	2か月振り		
指数	62.5		鉱工業在庫率(生産財・逆)	4か月振り		
			銀行貸出残高(☆)	2か月連続		
《一致系列》	就職率	5か月振り	有効求人倍率(就業地別)	2か月振り		
	鉱工業生産指数(総合)	2か月振り	大型店売上高(☆)	2か月連続		
採用系列数	7		輸入総額(唐津港+伊万里港)	6か月振り		
拡張系列数	4.0		着工建築物床面積(産業用)	2か月振り		
指数	57.1					
《遅行系列》	常用雇用指数	4か月振り	雇用保険受給実人員(逆)	2か月振り		
	銀行預貸率	2か月振り	陶磁器生産重量	3か月振り		
採用系列数	6		消費者物価指数(☆)	4か月振り		
拡張系列数	2.0		鉱工業在庫指数(総合)	9か月連続		
指数	33.3					

(逆)は逆サイクルを示す。

(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

(注)・センサス局法X-12-ARIMAで季節調整をしている指標についてはデータを追加するたびに季節調整要因が変更されるため、
遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。

・鉱工業指数など一部の指標は補正を行うことから、同様に遡及して数値が変わることがあります。

・有効求人倍率は、平成17年1月までは「受理地別値」を使用し、平成17年2月以降は「就業地別値」を使用しています(就業地別値は、平成17年2月分からデータが公表されているため)。また、毎年1月分公表時に新季節指数に改定されることから、
遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。

・令和4年10月分まで先行系列の指標に用いていた「不渡手形金額」及び「手形交換金額」は、令和4年11月の電子交換所への移行に伴いデータの公表がなくなったため、令和4年11月分から、これらを除外した指標により先行指数を算出しています。
なお、遡及して全期間を再計算しているため、これ以前の公表値とは数値等が異なります。

・令和6年2月分公表から、「鉱工業(生産・出荷・在庫)指数」の基準年更新により、全期間で遡及して数値を変えているため、
全系列(先行・一致・遅行)において、変化方向が一部変わっています。

・参考値として掲載しているCI一致指数について、令和6年5月分公表から計算基準を更新したため、全期間で遡及して
数値を変えています。